



SDGs の時代と「with you」-コロナ後の世界と私たち- 代表理事 安田 尚道

SDGs の時代と学習支援

現在、政府、地方自治体、企業、協同組合、大学、市民社会組織（たとえば、NPO）など、あらゆる団体が SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）に取り組んでいる。SDGs は 2015（平成 27）年国連サミットによって採択された「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」のなかで提起され、これらの団体はこの実現主体として位置づけられたからである。SDGs は「人間、地球及び繁栄のための」



「持続可能な開発」という目的実現のための目標である。このうち人間にかかわることは「貧困と飢餓に終止符を打ち、すべての人間が尊厳と平等の下に、そして健全な環境の下に、その持てる潜在的な能力を発揮することを確保する」ことであった。これは私たちが現在取り組んでいる学習支援や病後児保育の目的そのものである。

コロナの時代における不平等と潜在能力

新型コロナウイルスを学習支援の立場から考えると、新型コロナウイルスはこの感染防御のための一斉休校などにより子どもたちの学習権を奪っているといえる。ところが、この奪われ方も不平等であり、学力格差の懸念が強まっている。塾や自治体によるオンライン学習や親による学習に対応しうる学習環境にいる子どもがいる一方で、そのような学習環境にない子どもたちもいるからである。学習に不利な環境にいる子どもたちはより不利な環境へと追いやられる。学習環境の不平等が拡大し、不利な状況にある子どもたちの尊厳が毀損される。SDGs で主張される、「潜在能力」の発揮の前提である「平等と尊厳」は不利な学習環境にいる子どもたちからますます遠のき、自分らしく、大人になって発揮されるはずの彼らの「潜在能力」は成長しづらくなる。この不平等を少しでも埋め、親と子を支援し、不利な子どもたちの学習環境を改善しようというのが学習支援のはずである。

「with コロナ」と人間社会

「with コロナ」という言葉が「コロナとの闘い」という言葉に代わって使用されるようになってきた。ある環境学者は「すべての存在は相互に依存し、すべての生物は人類にとってのその生物の価値とは独立に、それ自身の価値を持つ」と指摘する。すべての生物との共生であり、「with every living things」である。この指摘に従えば、「with コロナ」とは、生存するために人間が必要であるコロナウイルスとの共生のことをいう。人間社会の対応の仕方によって新型コロナウイルスは人間を分断するが、それゆえに、人間社会に連帯つまり「with you」を求める。

「with you」の時代

感染防御の今とポストコロナの時代に求められるのが「with you」である。20 年前に NPO を立ち上げたとき、「with me」、「with us」も名称の候補に挙がったことを思い出す。設立メンバーによる議論の結果、私や私たちが主役ではなく、あなたたちと私たち、皆が主役であるとの結論に達し、「with you」にした記憶がある。当時、私たちは人を排除する社会ではなく、一人一人を大切にしながら結びついてくことのできる社会をみんなで作っていくことを漠然と目指していたのかもしれない。学習支援は子どもたち自身の未来とこれから生まれてくる子どもたちを受け入れる社会をより良くする重要な事業である。私たちの学習支援の力量がますます問われてくる。私は皆と一緒にこの力量を磨いていくことが NPO としての「with you」の責務であると思ひ、今「with you」をかみしめている。



## 2020年度 第19回 通常総会」開催

本年度 with you の通常総会を2020年6月27日（土）午後3時30分から午後4時30分まで、with you 事務局にて開催いたしました。正会員総数21名中、16名出席（委任状9名、書面表決1名を含む）が出席し、全ての議案が承認されました。ありがとうございました。また、本来であれば直接皆様にご意見を伺う貴重な機会でしたが、今年度は新型コロナ感染拡大防止に伴い、委任状又は書面表決書にてご意見をいただくことになりました。出席を予定されていた皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしました。ご理解いただきますようお願い申し上げます。



### ＜2020年度事業計画について＞

①生き活きとした豊かな市民社会の実現を目指します。②市民農園事業を通して、地域交流や生きがいを支援します。③子どもの教育の充実を進めます。④子育てと就労を支援します。⑤花と緑のまちづくりを進めます。詳細はホームページに掲載しております。

### 学習支援・日高教室がスタート！！



新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う小・中学校の休校に合わせお休みしていた日立市学習支援塾も、6月初旬に再開できるようになりました。

日高教室  
日時：毎週金曜日



### ご支援ありがとうございます

- ◆フードバンク茨城 様
  - ◆公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会（茨城県協会）様
  - ◆㈱アプリシエイト 様
  - ◆㈱カスミ 様
  - ◆NPO法人おてらおやつクラブ 様
  - ◆茨城県生活協同組合連合会 様
  - ◆NPO法人セカンドリーグ茨城 様
  - ◆明治安田生命 日立営業部 様
- これらのものは「学習支援塾」や「フードパントリー」など、活動の中で大切にに使わせていただきます。本当にありがとうございました。



### ～子ども食堂のお知らせ～

新型コロナの影響により、しばらくの間「子ども食堂」をお休みすることになりました。今後は、新たな形を検討していきます。

### 会員募集

- 正社員 個人 5,000円 団体 10,000円 学生 3,000円
  - 賛助会員 個人 1口 5,000円を1口以上  
団体 1口 10,000円を1口以上
  - 情報会員 個人 3,000円 団体 5,000円
- ※詳細は事務局にお問い合わせください

### 学習支援 ～事務局スタッフの声～



事務局スタッフ 野上 有子

with you 塾は、今年度新しく始まった日高教室を含め日立市で5教室、土浦市とつくば市に1教室ずつと全部で7教室があります。それぞれの教室に小学4年生から中学3年生までの生徒が在籍しています。毎週休みなく通ってくる子もいれば、月に1度しか来ない子、講師も忘れた頃にひょこっと来る子もいます。いつでも暖かく迎え入れる、それがwith you 塾です。さらに今年も7月から高校受験合格に向けての中学3年生対象の土曜教室も始まりました。

学力の向上を目的として、粘り強く諦めずに生徒一人一人に対応している講師の方々には本当に頭の下がる思いです。私はwith you 塾で事務局スタッフとして「生徒全員に声をかける」を念頭に、まあ言い換えれば“叱る”係です。なかなか座ってくれない子、おしゃべりばかりしている子、先生に横柄な態度をとる子もいます。そんな時が私の出番です。でも叱っている(=声をかける)と、だんだんその子との距離が縮まってくるような気がします。かわいいです。だから何とか学力もあげてあげたい、学ぶことの楽しさを教えてあげたいという思いが強くなってしまいます。学ぶことの楽しさを掴んだ子は顔つきが変わります。そんな時が私はとても嬉しいです。

将来、ふとこの教室でのひとときを“あんな事もあったな”と思い出してくれる子がいたら良いなと願いつつ、私は今日も生徒を叱りとばします。

### 編集後記

総会終了後に予定していた会員懇親会については、新型コロナウイルスの状況を見て、必ず開催したいと考えております。改めて日時が決まりましたらご連絡いたしますので、その際はぜひご参加いただければ幸いです。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。【事務局】